

千里ライフサイエンスセミナーS0

獲得免疫と自然免疫の双方から捉える 新しいアレルギー学

開催日時 2021年4月9日(金) 10:30~16:20

開催場所 千里ライフサイエンスセンタービル5F 山村雄一記念ライフホール

コーディネーター・座長

大阪大学大学院 医学系研究科 教授

茂呂 和世

京都大学大学院 医学研究科 教授

椛島 健治

従来のアレルギーといえば、Th2細胞により誘導されたアレルギー(抗原)特異的IgEを介した肥満細胞の活性化によるI型アレルギーを主に想起させた。しかしながら、抗IgE療法の有効性は限局的であり、また、IL-4, 5, 13といった従来のTh2サイトカインは自然リンパ球により大量に産生される事が明らかとなった事から、獲得免疫と自然免疫の双方からアレルギー性疾患の病態を再考する必要があるが出てきた。さらに、アレルギーの誘導には上皮バリア、線維芽細胞や末梢神経などの非免疫細胞の重要性も見出されている。そこで本セミナーでは、免疫細胞と非免疫細胞のクロストークの観点を変えながら、獲得免疫と自然免疫の両側面から理解し、これに立脚したアレルギーの発症機構・治療戦略に関する最新の知見を御紹介いただきます。

プログラム

10:35-10:50	はじめに 大阪大学大学院 医学系研究科 教授	茂呂 和世
10:50-11:30	小児アレルギー疾患の発症における獲得免疫と自然免疫の役割 国立成育医療研究センター 免疫アレルギー感染研究部 部長	松本 健治
11:30-12:10	アトピー性皮膚炎の自然・獲得免疫からの再検証 京都大学大学院 医学研究科 教授	椛島 健治
- 昼 食 -		
13:20-14:00	バリア組織の感覚神経と免疫 理化学研究所 生命医学研究センター チームリーダー	岡田 峰陽
14:00-14:40	ILC2による抗原非依存的アレルギー発症機構 大阪大学大学院 医学系研究科 教授	茂呂 和世
- 休 憩 -		
14:50-15:30	好酸球から見直すアレルギー性炎症 秋田大学大学院 医学系研究科 准教授	植木 重治
15:30-16:10	病原性Th2細胞による慢性アレルギー性気道炎症の病態形成と制御 千葉大学大学院 医学研究科 教授	中山 俊憲
16:10-16:20	おわりに 京都大学大学院 医学研究科 教授	椛島 健治

■ 定員 会場 50名、WEB参加 500名

■ 参加費 無料

■ 申込要領

氏名、勤務先、所在地、電話番号、会場参加かWeb参加を明記の上、e-mailで申し込み下さい。事務局より参加証を送付いたします。

■ 申込先 セミナーS0事務局 e-mail:tkd-2021@senri-life.or.jp
FAX 06-6873-2002

主催:公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団 (TEL 06-6873-2001)